

結果の概要

～平成23年10月分～

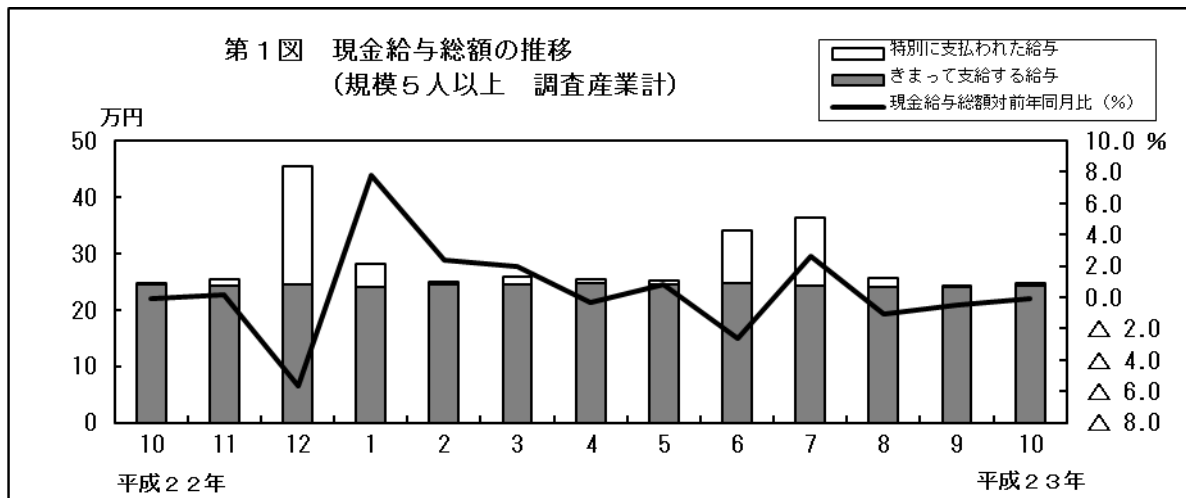
1 賃金の動き

10月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、246,152円となり、その指数は対前年同月比0.1%減（規模30人以上では、271,870円、1.2%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、243,371円、対前年同月比は0.2%減（規模30人以上では、267,690円、0.3%増）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、227,520円、対前年同月比は0.6%増（規模30人以上では、247,624円、1.1%増）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、332,620円（規模30人以上では、355,184円）、パートタイム労働者は、92,912円（規模30人以上では、103,444円）であった。（表20・21表）



2 労働時間の動き

10月分の調査産業計の月間総実労働時間は、139.3時間、対前年同月比は0.9%減（規模30人以上では、142.2時間、2.5%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.1時間、対前年同月比は11.6%減（規模30人以上では、10.4時間、12.7%減）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、13.1時間、1.6%増（規模30人以上では、14.1時間、0.6%減）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、168.0時間（規模30人以上では、165.5時間）、パートタイム労働者は、88.6時間（規模30人以上では、95.2時間）であった。（表20・21表）

